

質 疑 応 答 書

令和 8 年 4 月 14 日

中標津町長 西 村 穰

次の工事（業務）に係る設計図書について質問があったので回答する。

工事（業務）名	計根別浄化センター機械設備更新工事	
質 疑 事 項	回 答 事 項	
<p>1. 特記仕様書 P8、第 4 章、第 1 節 実施設計書 第 1 号内訳書 設計図図面番号 PM-02 ほか 沈殿槽汚泥引抜ポンプの納入台数について 特記仕様書に 2 台、実施設計書および設計図には 3 台納入との記載がありますが、特記仕様書を正として 2 台納入することによろしいでしょうか。</p> <p>2. 上記質疑 1. に関連して、特記仕様書（9）他工事との取り合い 3）にポンプ吐出管・逆止弁・仕切弁（既設流用）との記載があり、特記仕様書の第 6 章第 3 節配管工にも当該箇所の配管に関する記載がありませんが、実施設計書には該当すると思われる配管、仕切弁、逆止弁の計上が見られ、設計図にも着色がありました。特記仕様書を正として既設流用と考えてよろしいでしょうか。</p> <p>3. 特記仕様書 P.12 第 5 章 第 1 節 実施設計書 第 1 号内訳書 設計図図面番号 PM-02 ほか 濃縮汚泥引抜ポンプについて 特記仕様書および実施設計書に機器仕様および据付・塗装、他工事との取り合い等の記載がありますが、設計図にはフローシートの機器表が赤い四角で囲われているのみであり、更新台数や更新範囲の着色等がありません。特記仕様書を正として 2 台更新するものと考えますが、更新範囲を着色した設計図をご提示願います。</p>	<p>1. 内訳書、図面が正です。</p> <p>2. 内訳書、図面が正です。</p> <p>3. 本機は現地搬入までです。 撤去工事、その他現場工事は本工事範囲外です。</p>	

工事（業務）名	計根別浄化センター機械設備更新工事	
質 疑 事 項	回 答 事 項	
<p>4. 特記仕様書 P.14 第 5 章 第 3 節 実施設計書第 1 号内訳書 設計図面番号 PM-02 ほか汚泥貯留槽散気用ブロワについて</p> <p>特記仕様書および実施設計書に機器仕様および据付・塗装、他工事との取り合い等の記載がありますが、設計図にはフローシートの機器表が赤い四角で囲われているのみであり、更新台数や更新範囲の着色等がありません。特記仕様書を正として 1 台更新するものと考えますが、更新範囲を着色した設計図をご提示願います。</p>	<p>4. 本機は現地搬入までです。撤去工事、その他現場工事は本工事範囲外です。</p>	
<p>5. 特記仕様書 P.17 第 6 章複合工 第 3 節 配管工 実施設計書単-2 号 直接材料費 空气管 について</p> <p>上記質疑 4. に関連して、特記仕様書の配管工に 32A,40A SUS304TP 空气管が施工範囲として記載されていますが、設計図には更新範囲の図示がなく、実施設計書にも当該口径の数量計上が見られませんでした。設計書の計上箇所についてご教示願います。</p>	<p>5. 本配管は工事対象外です。</p>	
<p>6. 特記仕様書 P.16 第 6 章複合工 第 1 節基礎工 1. スカム移送ポンプ基礎 設計図面番号 PM-08 断面図（5）</p> <p>スカム移送ポンプ基礎について</p> <p>特記仕様書に主寸法は「図面による」との記載がありますが、設計図では範囲が読み取れませんでした。設計図等に予旋回槽を既設流用するとの記載がありますので着脱装置設置用の基礎ボルト設置等に係る基礎部分のみが施工範囲と考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>6. よいです。</p>	

工事（業務）名	計根別浄化センター機械設備更新工事		
質 疑 事 項		回 答 事 項	
<p>7. 特記仕様書 各電動機器 (9)他工事との取り合い 電気配線および配管について 特記仕様書の他工事との取り合いとしてケーブル結線 とありますが、撤去時の離線についても電気設備工事範囲にて施工していただけるものと考えてよろしいでしょうか。</p> <p>8. 実施設計書 集計リスト（その他） 仮設ポンプユニットリース費 各機器の施工期間に関する制約事項について 今回更新対象の各機器について、特記仕様書に特に施工期間や施工方法に関する記載が有りませんでした。実施設計書には仮設ポンプユニットリース費の記載がありました。</p> <p>(1) 施工期間について制約がある機器がありましたら、その機器と施工可能な日数についてご提示願います。</p> <p>(2) 槽内に設置する沈砂排水ポンプ、水中攪拌ポンプ、スカム移送ポンプについては、それぞれ設置する水槽の水抜き及び浚渫、清掃等は本工事範囲外と考えてよろしいでしょうか。</p> <p>(3) 仮設ポンプユニットについて、対象機器および設置場所や送水先等ご計画の内容をご教示ください。</p> <p>9. 工期末を令和9年1月29日と設定されておりますが、世界的な半導体不足、不安定なヨーロッパおよび中東情勢等の影響から機器製作手配に通常以上の時間を要した場合は、工期延長等の御協議をいただけるものと考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>7. 離線も本工事範囲です。</p> <p>8. (1) 受注後の協議とする。</p> <p>(2) よいです。</p> <p>(3) 受注後の協議とする。</p> <p>9. 協議は可能ですが、基本的には現工期内での完了を予定しております。</p>		

工事（業務）名	計根別浄化センター機械設備更新工事	
質 疑 事 項	回 答 事 項	
<p>10. 特記仕様書 P8、第4章、第1節 実施設計書 第1号内訳書 設計図図面番号 PM-02 沈殿槽汚泥引抜ポンプの仕様について 特記仕様書に吐出量 0.3m³/分、実施設計書に 0.2m³/分と記載がありますが、特記仕様書を正として吐出量 0.3m³/分の仕様でよろしいでしょうか。</p> <p>11. 特記仕様書 P.9 第4章 第1節 設計図 図面番号 PM-06 沈殿槽汚泥引抜ポンプ付属品 ルーズ継手及びルーズ短管について 上記質疑2. に関連して、特記仕様書(6)付属品 9)に吸込管・吐出管に設けるルーズ継手およびルーズ継手用短管の記載があります。設計図にはこれらが記載されておらず、吸込側は仕切弁、吐出側は逆止弁がポンプフランジに接合されているように確認できます。更には、吸込配管およびポンプ基礎は今回既設流用となっています。ルーズ継手及びルーズ短管を取り付ける配管スペースが無く、配管改造や基礎打ち増し等が必要になった場合には、設計変更協議をしていただけるものと考えてよろしいでしょうか。</p> <p>12. 実施設計書 単-2号 直接材料費 設計図図面番号 PM-02 80A 仕切弁および 80A 逆止弁の材質について 上記質疑2. に関連して、実施設計書 直接材料費に、80A 外ねじ式手動仕切弁 3個と 80A スイング式逆止弁 3個が計上されています。これらの材質は FC/SUS となっていますが、実施設計書の同ページに計上されている配管や設計図の配管材質を確認すると SUS304TP となっています。準拠仕様書に記載の日本農業集落排水協会型施設機器等標準仕様(案)に準ずると当該弁類の材質は SCS/SUS になると考えられますが、材質は FC/SUS でよろしいでしょうか。</p>	<p>10. 内訳書、図面が正です。</p> <p>11. 受注後の協議とする。</p> <p>12. よいです。</p>	